

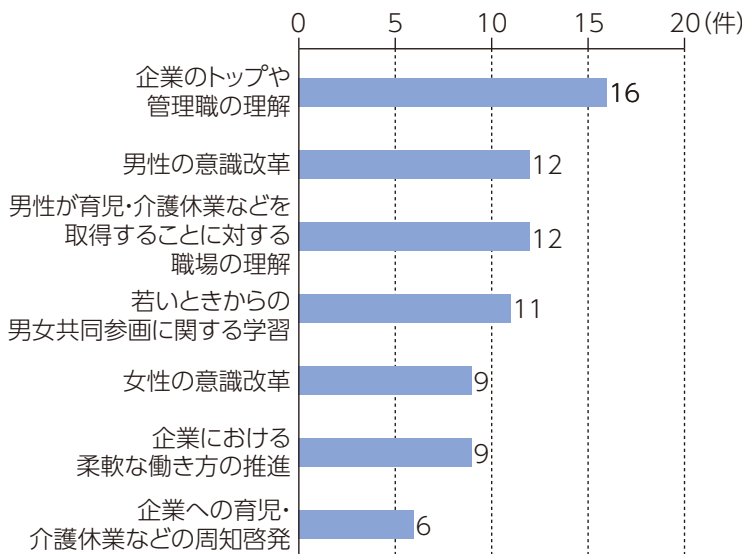


前回の広報うつのみやプラス「女性活躍社会」に対して、28人の市民の皆さんからのご意見をいただきました。代表的なものをご紹介します。

(1) 男女共に働きやすい職場環境にしていくために、企業や行政が行うべき必要な取り組みは何だと思いますか？

- ▽職場内全体を理解すること。結婚や出産を機に離職し、無職となっている人への再就職のあっせん、アプローチ (豊郷台・40代)。
- ▽男性が育児・介護休業などを取得することに対する職場の理解を深めるためにパンフレットを配布したり、年に1回講習を開催したりする (平松本町・20代)。
- ▽行政として、市内の企業に無料でワーク・ライフ・バランスアドバイザー (社会保険労務士) を派遣 (大塚町・50代)。
- ▽働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる企業のPR・周知 (旭1丁目・30代)。
- ▽管理職の意識を変える (滝谷町・30代)。
- ▽性差を十分に意識した上で、できる限り分け隔てなく個々の能力適性を重視して仕事を割り振る (雀宮町・60代)。
- ▽フレックスタイム、ワークシェアリングのさらなる推進 (西川田町・30代)。
- ▽女性の特性を生かした職場への適正配置と子育て、病気、介護に対する周囲の理解など、働きやすい職場づくりの意識改革 (明保野町・60代)。
- ▽モデル事業者のセミナーを開催し、企業の管理職などに出席してもらう (鶴田町・30代)。
- ▽1日や半日単位ではなく、1時間単位など細かく休暇を取得できる環境づくり (細谷町・20代)。

(2) 男性が家事や子育て、介護などにさらに参画するために必要な取り組みは何だと思いますか？(3つまで)



■その他の主なご意見

- ▽男性のトップや管理職への教育的な指導の経験を持続する公的な働きかけを行う (御幸町・50代)。
- ▽学校で育児体験を行う (東今泉2丁目・40代)。

前回の広報うつのみやプラス「女性活躍社会」の概要



多様な人材が活躍できる社会にするために

少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少する中、地域経済の持続的な成長のためには、女性や高齢者などが経済活動に参画できる環境整備が重要となっています。しかし、女性はライフサイクルに左右されやすく、30～44歳の女性の労働力率が低下してしまうことなど、解決すべき問題があります。

女性が社会で活躍するためには、性別による固定的な役割分担の解消や働きたいと思う女性が働き続けられるよう、ワーク・ライフ・バランスを推進していくことが必要となっています。

女性の幸せは社会の幸せ

女性が社会で活躍していくため、本市では、仕事と子育てなどの両立支援、子育て世帯などへの家賃補助、女性を雇用した企業への支援、ワーク・ライフ・バランスの成功事例の紹介など、さまざまな取り組みを行っています。また、民間企業でも女性が活躍できるよう、働きやすい職場環境を整備するなど、積極的に取り組みを進めているところもあります。

さまざまな人たちが協力し合うことで、男女の性別にかかわらず個性と能力を発揮し、女性が活躍できる社会へとつながっていきます。

広報うつのみやプラスや政策特集は、皆さんと一緒に考えていただきたいテーマを取り上げ、年に数回編集します。

郵便はがき

料金受取人払郵便

宇都宮中央郵便局
承認

0656

差出有効期間
2020年8月
15日まで

【切手不要】

(受取人)

宇都宮市旭1丁目1番5号

(宇都宮市役所)

宇都宮市総合政策部広報広聴課

行



3 2 0 8 7 4 0

3

氏名	住所	
年齢	歳	職業

差し支えがなければ記入してください。広報紙で意見を紹介する際には、氏名の記載はしません。なお、はがきの情報については、目的以外には使用しません。